

新潟県企業短期経済観測調査の概要

(業況感)

- **業況判断 D. I.** は、「良い」超幅が拡大した。
—— 製造業は、「良い」超幅が拡大した。非製造業は、「悪い」超が解消した。

▽主な業種別の変化要因

		業種	主な要因
製造業	改善	はん用・生産用・業務用機械、鉄鋼、木材・木製品、金属製品、食料品	自動車関連受注が好調 IT 関連受注が好調 価格転嫁の進展
	悪化	窯業・土石製品、輸送用機械、非鉄金属、電気機械	海外需要の一服 公共工事関連受注の下振れ
非製造業	改善	建設、宿泊・飲食サービス、対個人サービス、鉱業・採石業・砂利採取業	建設工事関連受注の増加 インバウンド需要の獲得
	悪化	不動産、対事業所サービス、卸売	需要の一服、下振れ 価格競争の継続

- **先行き**については、「良い」超幅が縮小する見通しである。
—— 製造業は、今回調査並みの「良い」超を見込んでいる。非製造業は、「悪い」超となる見通し。

(事業計画)

- 2017 年度の**売上高**および**経常利益**は、前年を上回る計画である。前回調査対比では、売上高、経常利益ともに上方修正となった。
—— 経常利益は、製造業で、IT や自動車関連需要の獲得などから、増益計画となっている。非製造業は、建設工事受注の減少懸念などから、減益計画となっている。
—— 経常利益を前回調査対比で見ると、製造業では、IT や自動車関連需要が好調なことに加え、為替が円安方向で安定的に推移したことなどから、上方修正となった。非製造業では、県外工事受注の獲得や、不動産投資の活発化などから、上方修正となった。

- 2017年度の**設備投資**は、前年を上回る計画である。前回調査対比では、上方修正となった。
 - 製造業は、大規模な効率化投資や受注好調に伴う能増投資などもあり、前年を上回る計画となっている。非製造業は、新規出店計画の拡大や大規模設備の更新などあって、前年を上回る計画となっている。
 - 前回調査対比でみると、製造業では、大規模な効率化投資や受注好調に伴う能増投資がみられたことなどから、上方修正となった。非製造業では、新規出店の一部が次年度に持ち越されたことなどから、下方修正となった。

(その他の判断項目)

- **販売価格判断D. I.**は、「下落」超幅が小幅拡大した。**仕入価格判断D. I.**は、「上昇」超幅が拡大した。
- **雇用人員判断D. I.**は、「不足」超幅が拡大した。
- **資金繰り判断D. I.**は、「楽である」超幅が拡大した。**貸出態度判断D. I.**は、「緩い」超幅が小幅縮小した。**借入金利水準判断D. I.**は、「低下」超幅が縮小した。

以 上